



2021年度募集要項
Application Guidelines for FY 2021
改定-8 (2021. 3. 2)



新富国際語学院

入試事務局

◇住所：〒262-0022 千葉県千葉市花見川区南花園2丁目5番19号

◇TEL：043-276-5828

◇FAX：043-307-5524

Admissions office

Address：2-5-19 Minamihanazono, Hanamigawa-ku, Chiba-shi, Chiba Pref., 262-0022, Japan

Phone number：(+81) 43-276-5828 Fax number：(+81) 43-307-5524

URL：http://www.shintomi.jp Email：info@shintomi.jp/jimu@shintomi.jp





目 次

アクセス	3頁
新富国際語学院の理念、教育目標	4頁
学生受け入れ方針	
教育課程に関する方針	
授業時間	5頁
応募資格	
出願期間	6頁
募集定員	
入学選考要領	
出入国在留管理局の審査	
在留資格認定証明書交付後の手順	
納付金	7頁
費用の振込先	8頁
納入金の返還	
学習奨励金及び褒賞	
出願書類提出要領	9頁
入学希望者提出書類一覧	14頁
新富国際語学院入学願書 (別紙 1)	15頁
履歴書&就学理由書、家族一覧 (別紙 2)	16頁
日本語教育機関卒業後の進路説明書 (別紙 3)	19頁
誓約書と在学保証書 (別紙 4)	20頁
経費支弁書 (別紙 5)	21頁
経費支弁者家族一覧表 (別紙 6)	22頁

学校から空港等へのアクセス

新富国際語学院から東京駅まで約 45 分
 成田空港まで約 58 分
 羽田空港まで約 1 時間 25 分



学校へのアクセス



- 1 JR 総武線 新検見川駅から徒歩 2 分
- (1) 駅南口の階段を下りる
 - (2) 右折
 - (3) 西友新検見川店手前の階段を下りる
 - (4) 右折
 - (5) 左手側に新富国際語学院玄関



- 2 京成電鉄千葉線 検見川駅から徒歩約 8 分
- (1) 駅出口を左折
 - (2) 約 50 メートル線路沿いを直進し、左折踏切を横断
 - (3) 桂林餃子店を右折
 - (4) 西友新検見川店付近まで直進



S: 西友スーパーマーケット新検見川支店
 文: 新富国際語学院



□ 新富国際語学院の理念、教育目標

1 理念

新富国際語学院は「生命だけは平等だ」の理念の基、日本で活躍できる人材育成を図る為、進学を目指す留学生に対して「実用的日本語学習」、「日本の生活習慣及び商慣習の理解促進」を実践することにより、留学生個々の夢を実現します。そして、学生全員がお互いに助け合う精神に基づく人間尊重の気風を堅持できる心豊かな人材育成を図ります。

2 教育目標

次の目標を掲げて「自主自立」に基づき常に進歩と向上にまい進する心逞しい人材を育成します。

- (1) 日本語能力試験N2を取得する。
- (2) 日本の社会規範を身につける。
- (3) 人間尊重の価値観を高める。

□ 学生受け入れ方針

日本での進学就職の夢を持ち、日本留学を目指している学生を求めています。ぜひ一緒に、新富国際語学院で学びませんか？

個々の夢の実現に向けて、教職員が全力で皆さんの支援を行います。

当学院は「留学生を安心して預けられる日本語学校」、「的確な生活指導や進路指導により留学生を守る日本語学校」を目指します。

□ 教育課程に関する方針

1 コース (2021年度新カリキュラム予定)

- (1) 進学2年コース (4月入学) : 学習時間2年間で1600時間
学習レベル: 「初級Ⅰ、初級Ⅱ、初中級Ⅰ、初中級Ⅱ、中級Ⅰ、中級Ⅱ、中上級Ⅰ、中上級Ⅱ」
- (2) 進学1年6か月コース (10月入学) : 学習時間1年6か月で1200時間
学習レベル: 「初級Ⅱ、初中級Ⅰ、初中級Ⅱ、中級Ⅰ、中級Ⅱ、中上級Ⅰ」

2 教育内容

- (1) 言語行動(「聞く」「読む」「話す」「書く」の4技能)、言語知識(「文字」、「語彙」、「文法」)の均衡的、段階的な学習
- (2) 日本語能力試験(JLPT)、日本留学試験(EJU)、実用日本語検定(J・TEST)などの各種試験対策を主要学習に取り入れた学習
- (3) 日本文化や社会規範体験を通じた授業連動型の校外学習の実施
- (4) 学期毎に習得レベルを判断するための定期試験(会話含む)の実施

3 教育方法

- (1) 入学時のプレースメントテスト後の面接で個々の学習目標を設定し、個々のレベルにあったクラスでの教育
- (2) 体系的な基礎学習に加え、課題を与えて自主的に取り組ませる主体的、協働的な学習
- (3) 初級から上級までのクラス毎の担任制による個々の進度の把握と親身な指導
- (4) 2年目最終学期における進路別卒業クラス編成による入管法等関係法令及び商慣習の指導
- (5) 学生個々の希望進路把握による定期的な説明会・セミナーや進路イベントの開催等



4 学習成果（育成すべき能力）

- (1) 日本の高等教育機関や企業で通用する実践的な日本語コミュニケーション能力
- (2) 学生全員がお互いに助け合い、信頼し、人間を大事にする気風を持ち、目標達成の喜びを分かち合える心豊かな人材
- (3) 自主自立に基づき進歩と向上にまい進し、総合的に日本社会で活かせる人間力

5 評価

- (1) 当学院が定めた教育目標を達成し、卒業後の進路先（進学、就職）で日本の社会規範に基づいて基本的なコミュニケーションを駆使できる。
- (2) 所定の課程を修めて卒業できる認定要件は以下のとおりである。
 - ① 入学から卒業までの累積出席率が 80%以上であること。
 - ② 卒業試験を受けて所定の点数を獲得していること。
 - ③ 留学ビザで進学 2 年コース又は進学 1 年 6 か月コースを修了し、コース満了の 3 月まで在籍していること。
 - ④ 学納金を完納していること。

□ 授業時間

（1 限：45 分間 / 1 日：4 限）

午前クラス（月曜日～金曜日）

午後クラス（月曜日～金曜日）

1 限	09:10～09:55
2 限	09:55～10:40
3 限	11:00～11:45
4 限	11:45～12:30

1 限	13:10～13:55
2 限	13:55～14:40
3 限	15:00～15:45
4 限	15:45～16:30

□ 応募資格

- 1 本国で 12 年以上の正規課程教育（期間は国によって異なる）及びその他同様の学校教育を修了した者で日本入国時に原則として満 18 歳以上の者
- 2 本国で大学等の高等教育機関への入学資格（高校卒業又は高校卒業と同等の資格保持者）を持つ者
- 3 出願時点で 150 時間以上の日本語学習履修証明書を提出できる者又は、日本語能力試験 N5 レベル相当以上と認められる者
- 4 最終学歴修了後 5 年以内であること、但し看護師資格等を保有し勤務歴が明確である場合は原則として 30 歳以下であれば応募可とします。

注 1：上記第 3 号の「日本語学習履修証明書」：日本語学習証明文書により、立証する場合は受講した「総学習時間」と「実際に出席した実学習時間」が明記されたもので、「学習時間、出席率、履修内容、コース名称、当該コースの終了目標レベル、使用教材名」が記載された証明文書を提出して下さい。

注 2：上記第 3 号の「N5 レベル相当以上」：「J・TEST の F 級（FG レベル試験 250 点以上）」、「日本語 NAT-TEST の 5 級以上」、「TOP-J 実用日本語運用能力試験の初級 A 以上」や「J-cert（生活日本語検定）」の初級以上の認定も含まれます。その他の日本語認証試験も含めて、それぞれの証明書（原本）を提出して下さい。



□ 出願期間

入学時期	資料提出時期	審査結果通知	在留資格認定書交付	在学期間
04月 04月予備日	2020年10月01日～11月18日 2020年10月01日～12月02日	面接後3日以内	2021年02月下旬	2年
10月	2021年02月01日～05月15日	面接後3日以内	2021年08月下旬	1年6ヶ月

□ 募集定員

コース	募集定員	到達目標	備考
進学2年コース	60	JLPT N2以上取得	
進学1年6か月コース	40	JLPT N2以上取得	
総計	100		

□ 入学選考要領

入学希望者は入学願書「13頁 入学希望者提出書類一覧」を当学院へ送って下さい。
選考法は次の通りです。

選考方法	実施方法	結果通知
一次選考	書類審査（最終学歴成績、経費支弁能力、日本語学習時間）、日本語能力無資格者は筆記試験「文字（ひらがな、カタカナ）、語彙、文法（疑問詞、助詞）」を行います。	書類到着後速やかに書類審査を行い結果通知
二次選考	現地面接が困難な場合は、当学院の職員がオンライン面接を活用する。	面接後3日以内結果通知

※一次選考はエージェントにおいて実施します。二次選考は当学院担当者が原則としてSKYPE、ZOOMによるオンライン面接を行います。

□ 出入国在留管理局の審査

本学院の入学適格の書類審査に合格した場合、本学院が東京出入国在留管理局で在留資格認定証明書を代理申請します。約2ヵ月半後、本学院が東京出入国在留管理局で在留資格認定証明書の交付・不交付の結果を確認し、在留資格認定証明書を受理します。

□ 在留資格認定証明書交付後の手順

- 1 在留資格認定証明書の受領後、本学院より学費等の請求書を申請者宛てに送ります。申請者は学費を期日までに銀行送金でお支払いください。
- 2 学費等の入金を確認後、在留資格認定証明書の原本、入学許可書、留学のご案内等を申請者宛てに送付いたします。
- 3 申請者は、在留資格認定証明書受領後、現地の在外日本大使館または領事館で「留学ビザ」を申請してください。
- 4 自分の航空券を予約し、到着便名・到着時間を本学院（入試事務局）にご連絡ください。



□ 納付金

申請人は「在留資格認定証明書」の交付通知を受けましたら、原則として初年度納付金 740,000 円（入学検定料免除）を一括納付して下さい。入金確認が取れ次第、学校から「在留資格認定証明書」及び「入学許可書」を送付します。

なお、特に経済的事実等がある者は、事前に本学院に連絡した上で、初年度納付金の半分 370,000 円を納付することができます。後期の授業料の納付（回数）については柔軟に対応します。

注：入学時まで初年度分納付金を一括納付ができなかった者は、「誓約書と在学保証書（別紙 4）」を提出して下さい。

項目	初年度	次年度	
	全コース	2年コース	1年6月コース
入学検定料（注1）	20,000 円	—	—
入学金	30,000 円	—	—
授業料（注1）	610,000 円	610,000 円	305,000 円
教材費	30,000 円	30,000 円	15,000 円
その他施設費等（注2）	70,000 円	70,000 円	35,000 円
合計	760,000 円	710,000 円	355,000 円

細部項目 （注2）	施設費	設備費	課外活動費	保険料	健康管理費	その他（ビザ更新）	合計額
金額	15,000	15,000	15,000	10,000	5,000	10,000	70,000

（税込み 日本円）

注1 新型コロナ禍の状況を勘案し、次のような減免を行います。

- 2021年4月期生及び10月期生に限り、入学検定料は免除します。
- 2021年4月期生及び10月期生に限り、出願時点で JLPTN4（同レベル相当の他試験含む）を取得済みの方は各年度授業料から6万円、JLPTN5（同レベル相当の他試験含む）取得済みの方は4万円を各年度授業料からそれぞれ減額します。（条件：コース毎の規定期間在籍、毎月出席率90%以上維持）

日本語能力	コース	コース別と取得資格別の納付金	合計額
無資格者	2年コース	740,000 円（初年度） + 710,000 円（次年度）	1,450,000 円
	1年6月コース	740,000 円（初年度） + 355,000 円（次年度）	1,095,000 円
N4（相当） 以上既取得者	2年コース	680,000 円（初年度） + 650,000 円（次年度）	1,330,000 円
	1年6月コース	680,000 円（初年度） + 295,000 円（次年度）	975,000 円
N5（相当） 既取得者	2年コース	700,000 円（初年度） + 670,000 円（次年度）	1,370,000 円
	1年6月コース	700,000 円（初年度） + 315,000 円（次年度）	1,015,000 円



- ※ 納付金振込みの手数料は、全て振込人負担となります。
- ※ 教材費は授業内容によって一部実費負担の場合があります。
- ※ 学生は入国後、必ず国民健康保険に加入することになります。
- ※ 次年度の納付金は、原則として2回又は4回の分割納入とします。学生の経済状況等を踏まえて、事務と調整の上、納付については柔軟に対応します。

□ 費用の振込先

項目 The item	日本国内で振込む場合 When you send money in Japan	国外から振込む場合 When you send money from overseas
銀行名 Name of Bank	京葉銀行 新検見川支店	The Keiyo Bank, Ltd. /SHINKEMIGAWA Branch
受取人 Account Name	ソフィアグローバル株式会社 代表取締役 徳田 秀子	Sophia Global Inc. President Tokuda Hideko
口座番号 Account number	普通口座 4521051	Savings account 4521051
Swift code	KEIBJPJT	KEIBJPJT

□ 納入金の返還

在留資格 認定証明 書交付後	入国査証の申請を行わず 不來日の場合	入学検定料と入学金を除く全納付金を 返還する
	入国査証の申請を認めら れず不來日の場合	
	入国査証を取得したが入 学辞退の場合	
	来日後、入学前に入学辞 退の場合 注	
	入学後に退学する場合 注	入学検定料と入学金、教材費、その他 施設費等は返還しない。授業料を学期 (3か月)単位で返還する。

注：来日後に納付金の返還を行う場合は、帰国確認後に返還する。

□ 学習奨励金及び褒賞

1 学習奨励金

2年生在学時の所定の期日「4月期生は受給対象年度の4月（10月期生は受給対象年度の9月）」までに、日本語能力試験（JLPT）N3又は同N3レベル相当以上の日本語能力を証明する資格を取得し、出席率98%以上の学生には選考審査の上「特別優秀者学習奨励金」の支給制度が適用されます。この細部の申し込み手続要領は別示する。

- (1) 支給額：月額30,000円×12か月（10月期生は6か月）
- (2) 人数：若干名

2 本学院には次のような各種報奨制度があります。

この学習奨励金及び褒賞は「資格外活動等の法令違反及び学則違反がないこと」を前提にしております。

- (1) 各コース期間対象の卒業時の「総合成績優秀賞」



JLPT N2以上の取得に加えて、EJUの高得点（3科目）取得者で出席率95%以上、成績が最優秀の模範的學生には「総合成績優秀賞」（上位3名）を卒業時に授与します。

- (2) 学期毎の期末試験成績優秀者には、「期末試験成績優秀賞」を授与します。
- (3) 入学後12か月以内にJLPTN3以上、入学後16か月以内にJLPTN2以上を取得した者はそれぞれ「資格取得賞」があります。但し、同試験日が延期や中止になった場合、設定期間に係わらず延期又は中止後最初の試験結果を適用します。
- (4) その他、各コース期間の「皆勤賞」、「精勤賞」や 学期間（3カ月間）100%出席の「学習奨励賞」があります。

□ 出願書類提出要領

下記の申請書類をご用意ください。但し、該当者のみの欄についても確認し、個々に必要な書類を含めて準備して下さい。

1 申請者

- (1) 共通 各表枠の色：青色(必須の書類等)、黄色(別紙様式有り)、茶色(該当者の書類)

①	新富国際語学院入学願書	○本学所定の書式 ○すべての項目を記載すること 別紙1
②	履歴書&就学理由書、家族一覧	○本学所定の書式（履歴書と就学理由書、家族一覧が含まれています。） ○小学校入学から最終学校卒業までの学歴とみなせるもの全て、職歴、日本語学習歴も記載すること ○学校の所在地は地番（〇〇号）まで正確に記載すること ○学歴が不規則な場合、その証明書類も必要です。 注：履歴書及び就学理由書の日本語訳を添付して下さい。 ○すべての項目を記載すること 別紙2
③	最終学校の卒業証明書	○最終学校の卒業証書原本または卒業証明書原本（冊子型の卒業証書は、同表紙等の写しも提出） ○在学（休学）中の場合、あるいは中途退学の場合は当該学校の証明のほか、高校の卒業証書も提出すること ○本国における大学入学試験を受けた者は、その結果が記載された書類を提出すること 注：上記の提出書類は、日本語訳を添付して下さい。
④	最終学校の成績証明書	○最終学歴の学校卒業者：「入学時から卒業時まで取得した単位等の状況を記載」 ○最終学歴の学校に在学中の者：「入学時から申請時点までに取得した単位等の状況を記載、加えて直近の卒業校で入学時から卒業時まで取得した単位等の状況を記載」 注：上記の提出書類は、日本語訳を添付して下さい。
⑤	日本語能力立証資料	○出願時点で150時間以上の日本語学習履修証明書を提出 ○日本語能力試験 N5 レベル相当以上と認められる証明がある場合、提出「 <u>応募資格（5頁）下部の注意書きを参照して下さい。</u> 」 注：上記の提出書類は、日本語訳を添付して下さい。
⑥	健康診断書	○胸部レントゲン、内診及び血液検査（任意様式）、新型コロナウイルス感染症の検査を受けた方は検査結果添付 注：上記の提出書類は、日本語訳を添付して下さい。



⑦	パスポートコピー	<ul style="list-style-type: none"> ○旅券コピー（個人情報のある全ページ） ○日本への入国歴がある場合は出入国スタンプのあるページも添付。
⑧	写真 6 枚	<ul style="list-style-type: none"> ○縦 4 c m×横 3m 3 ヶ月以内に撮影された同一のもの。 ○裏面に名前を記載すること。

(2) 該当者のみ

①	日本語教育機関卒業後の進路説明書	<ul style="list-style-type: none"> ○最終学歴の学校卒業後 5 年以上を経過している場合は、「日本語教育機関卒業後の進路説明書」が必要となります。 注：上記の提出書類は、日本語訳を添付して下さい。 ○本学所定の書式 ○すべての項目を記載すること。 別紙 3
②	在学証明	<ul style="list-style-type: none"> ○現在、大学や大学院に在籍中の者は在学証明書を添付 注：上記の提出書類は、日本語訳を添付して下さい。
③	学歴等の認証報告文書	<ul style="list-style-type: none"> ○中国出身者の大学（大専含む）卒業者は、CHSI または CDGDC から発行された学歴等の認証報告原本を提出して下さい。 ○中国出身者の高校卒業者も学歴等の認証報告原本を上記同様に提出して下さい。 注：上記の提出書類は、日本語訳を添付して下さい。
④	在職証明書（退職証明書）	<p>次に該当する場合は、申請人の在職証明書を提出して下さい。</p> <p>(1) 提出が必要な場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ①申請人が、過去に「留学」又は「就学」に係る認定申請不交付歴や在留資格諸申請不許可歴を有し、本申請時において職歴を有する場合 ②申請人が過去に日本で「技能実習」（「研修」を含む）を終了し、帰国後、本国において在職歴を有する場合 <p>(2) 提出における留意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①記載内容 在職証明書（退職証明書）には「入社日（退職日）」、「稼働先名称」、「連絡先」、「稼働期間」、「職務内容」、「職務上の地位」、その他特筆すべき内容（該当者のみ）を記入して下さい。 ②技能実習（研修を含む）を終了した者のうち、当該技術移転を行っていない者 技術移転ができてなかった場合、その理由を詳細に記載した理由書（任意様式）及びその説明内容を裏付ける資料により、具体的に説明して下さい。 ※説明内容によっては消極的事由として判断される場合があります。 <p>注：上記の提出書類は、日本語訳を添付して下さい。</p>
⑤	誓約書と在学保証書	<ul style="list-style-type: none"> ○入学時までには初年度の納付金（760,000 円）を一括納付ができなかった者は、「誓約書と在学保証書（別紙 4）」を提出して下さい。



2 経費支弁者

①	経費支弁書	<p>(1) 本学所定の書式に必ず経費支弁者本人が直筆すること。</p> <p>(2) 経費支弁者が両親以外の親族等である場合は、経費支弁書に次の事項を記載した「署名入りの文書」(別紙)を作成し、添付して下さい。</p> <p>①申請人の両親に代わり経費支弁を受託した具体的経緯と事情</p> <p>②申請人の両親が経費支弁を履行できない具体的経緯と事情</p> <p>注：上記の提出書類は、日本語訳を添付して下さい。別紙 5</p>
②	経費支弁者の家族一覧表	<p>経費支弁者の家族(配偶者及び子、同居別居の有無を問わず全員)の「国籍、氏名、性別、生年月日、年齢、職業、居住地、同居・別居の有無」の記載された一覧表(原本)の提出を要します。</p> <p>○戸籍簿の場合、すべてのページをコピーすること。</p> <p>注：上記の提出書類は、日本語訳を添付して下さい。別紙 6</p>
③	経費支弁者と申請人の関係を立証する文書	<p>○経費支弁者と申請人の関係を立証する文書(原則として原本)を添付して下さい。</p> <p>○申請人と経費支弁者との関係について、公的機関が立証した文書(出生証明書や親族関係公証書等)</p> <p>家族戸籍簿提出の場合は全ての世帯構成員全員の身分や職業が記載された全頁の写し</p> <p>○申請人と経費支弁者が親族関係にある場合</p> <p>次の例を参照し、申請人と経費支弁者が親族関係にあることが分かる書類を提出して下さい。</p> <p>例：経費支弁者が申請人実母の姉である場合</p> <p>①申請人と実母との母子関係を立証する書類</p> <p>②申請人と実母と経費支弁者の姉妹関係を立証する書類</p> <p>注：上記の提出書類は、日本語訳を添付して下さい。</p>
④	預貯金残高証明書	<p>○経費支弁者本人名義の原本を提出して下さい。</p> <p>○経費支弁書の記載金額をものに学習予定期間に見合うだけの残高が必要です。</p> <p>○「通帳名、口座名義、口座番号、銀行印、残高が明記され、発行日は、願書提出までの直近の日付のものを提出して下さい。</p> <p>注：上記の提出書類は、日本語訳を添付して下さい。</p>
⑤	経費支弁者の職業を立証する書類	<p>○立証する書類</p> <p>次の(1)から(4)の経費支弁者の職業を立証する書類を提出(原本)して下さい。これら以外の場合であっても経費支弁者の職業については公的機関が証明した発行書類がある場合、提出して下さい。</p> <p>(1) 経費支弁者が会社員の場合 勤務先又は公的機関から発行された在職証明書</p> <p>(2) 経費支弁者が、事業を営む場合 営業許可書写しや事業登録証明書写し等、公的機関から発行された当該事業を営むことが分かる書類 例：法人単位での農業従事者や事業者等</p> <p>(3) 経費支弁者が、企業等の役員の場合 公的機関から発行された法人登記簿謄本等写し</p>



		<p>但し、法人登記簿謄本に記載が無い役員の場合は(1)の在職証明書原本を提出して下さい。</p> <p>(4) 経費支弁者が(1)から(3)まで以外の職業に従事する場合 例：個人単位での農業従事者等 経費支弁者の職業を立証できる公的機関から発行された証明文書</p> <p>○ 在職証明書の記載内容 上記の(1)及び(3)で提出する職業証明書には稼働先名称及び連絡先その他①稼働期間、②職務内容、③職務上の地位、④その他特筆すべき内容（該当する場合のみ）が記載されたものを提出して下さい。</p>
⑥	過去3年間の経費支弁者の資金形成過程立証資料	<p>(過去3年分の出入金明細書又は過去3年分の預貯金通帳の写し等)</p> <p>(1) 資金形成過程及びその立証 資金形成過程とは上記項目④の「預貯金残高証明書」に記載された金額を形成するに至った経緯をいい、その立証は原則として「預貯金通帳写し」や「出入金明細書」によるが、やむを得ない場合は、その他の資料により客観的にかつ具体的に行う。</p> <p>(2) 資金形成過程の立証期間 原則として上記項目④の「預貯金残高証明書」発行日を含めた3年間。</p> <p>(3) 資金形成過程における留意事項 ① 預貯金通帳の写しにより証明する場合、次の項目全てについて、明確に判読ができるものを提出 ○ 全頁でA4版用紙の範囲内に預金通帳の全体が収まっている。 ○ 預貯金通帳の地模様が確認できること。 ○ 取引内容（取引日付、取引金額、残高）が適切に判読できること。 ○ 預貯金者名、金融機関名（預貯金通帳発行元金融機関）、預貯金通帳口座番号等の重要事項が記載された頁や銀行印が明確に判読できること なお、字が読めない部分がある場合は、該当箇所の理由書（任意）を要する。</p> <p>② 出入金明細書により立証する場合 必ず原本の提出を要する。 A4版用紙サイズ以外で発行されている場合は、原本の他にA4版に加工した同書類も併せて添付して下さい。 その他、特筆すべき履歴や補足事項があれば、理由書（任意様式）により説明して下さい。（原本への書き込みは厳禁）、 なお、理由書（任意様式）は、経費支弁者等、その事情を最も把握している人物が作成するものとし、作成日、署名（押印可）したものを提出。</p> <p>③ 定期預貯金口座により立証する場合 定期預金に係る出入金明細書に加えて、当該定期預金口座に預貯金した金額について、その資金形成過程の立証資料を添付し、その説明文を提出 例：普通預貯金通帳口座に係る「出入金明細書」や資金移動に係る「説明文書」や「裏付け資料」</p> <p>④ その他の資料により、立証する場合 やむを得ない事情により、預貯金通帳写しや出入金明細書以外の資料で</p>



		<p>立証する場合、経費支弁者の収入状況について、公的機関からの認証された文書を必ず提出した上で、具体的な資金形成過程が分かる資料も併せて提出。</p> <p>例：農産物等の市場価格が分かる書類や売上伝票や領収書等</p> <p>⑤資金形成過程立証資料の記載について</p> <p>上記の資金形成過程の立証資料が提出された場合でも、記載内容が不十分な場合、資金形成過程に係る理由書（任意）とその裏付け資料の添付が必要です。</p> <p>注：上記の説明文書等の提出書類は、日本語訳を添付して下さい。</p>
⑦	<p>過去3年間の経費支弁者の収入を立証する文書（過去3年分の納税（課税）証明書又は過去3年分の収入（所得）証明書）</p>	<p>○ 収入（所得）個人所得税はそれぞれ関連性が高いことから、経費支弁者が従事する職業により得られた収入額（過去3年分）、経費支弁者の個人所得（過去3年分）の納税状況の立証にあたっては、個人所得税を管轄する公的機関から発行される証明文書を提出して下さい。</p> <p>○ 個人所得税を管轄する公的機関から発行される証明文書が提出できない場合は、当該経費支弁者の収入、個人所得額、個人所得税額及び同納税額について公的に説明することができる機関が作成した説明資料（任意様式）を提出して下さい。その際に、理由書（任意様式）を別途作成し、個人所得を管轄する公的機関が証明文書を発行できない具体的理由を説明して下さい。</p> <p>○ 収入額については、総収入額及び租税公課等の控除後の実収入額の双方が記載されたものを提出して下さい。</p> <p>○ 個人所得税を管轄する公的機関が発行した証明文書に、収入額及び個人所得税額が記載されている場合は、納税証明書の提出は不要となります。</p> <p>○ 納税状況を明確にするため、納付済レシート等の写しではなく、公的機関から発行した証明文書を提出して下さい。</p> <p>注 個人所得税申告の認証資料や具体的な課税額や納税額が無い書類については、十分に立証された資料とは認められない場合があります。</p> <p>○ 証明文書を発行する地方公共団体によっては、証明文書の名称や証明内容が異なる場合がありますので、次の項目が全て記載された証明文書（過去3年分）を提出して下さい。</p> <p>① 収入所得税、</p> <p>② ①についての所得課税額</p>

※出入国在留管理局に提出した書類は一切返還できません。

※書類は不備の無いようにご準備ください（日本語訳添付のこと）。

※願書提出後に「住所」や「電話番号」などが変わった場合には、必ず募集担当（入試事務局）まで連絡し、変更届けの手続きをしてください。

※全ての書類・証明書（日本語能力証明書を除く）の発行日は、本学院へ提出する日から過去3カ月以内のものに限ります。



入学希望者提出書類一覧

1 申請者

- (1) 新富国際語学院入学願書 (別紙 1)
- (2) 履歴書&就学理由書、家族一覧 (別紙 2)
- (3) 最終学校の卒業証明書
- (4) 最終学校の成績証明書
- (5) 日本語能力立証資料
- (6) 健康診断書
- (7) パスポートコピー
- (8) 写真 6 枚

2 該当者のみ

- (1) 日本語教育機関卒業後の進路説明書 (別紙 3)
- (2) 在学証明
- (3) 学歴等の認証報告文書
- (4) 在職証明書
- (5) 誓約書と在学保証書 (別紙 4)

3 経費支弁者

- (1) 経費支弁書 (別紙 5)
- (2) 経費支弁者の家族一覧表 (別紙 6)
- (3) 経費支弁者と申請人の関係を立証する文書
- (4) 預貯金残高証明書
- (5) 経費支弁者の職業を立証する書類
- (6) 過去 3 年間の資金形成過程立証資料
- (7) 過去 3 年間の経費支弁者の収入を立証する文書
「過去 3 年分の納税 (課税) 証明書又は過去 3 年分の収入 (所得) 証明書」

新富国際語学院入試事務局

住所：〒262-0022 千葉県千葉市花見川区南花園 2 丁目 5 番 19 号

◇TEL：043-276-5828

◇FAX：043-307-5524

Admissions office, Shintomi International Language Academy

Address：2-5-19 Minamihanazono, Hanamigawa-ku, Chiba-shi, Chiba Pref., 262-0022, Japan

Phone number：(+81) 43-276-5828 Fax number：(+81) 43-307-5524

URL：http://www.shintomi.jp Email：info@shintomi.jp/jimu@shintomi.jp



新富国際語学院入学願書

別紙 (Attachment) 1

APPLICATION FOR ADMISSION OF SHINTOMI INTERNATIONAL LANGUAGE ACADEMY

氏名 Name in full	姓 (母国語) Family name (mother tongue)		名 (母国語) First name (mother tongue)		写真 PHOTO 無帽で正面向き、背景 (影を含む) のない、鮮明であるもの Front view without caps, clear images without background (shadows), within 3 months 4cm×3cm
	Family Name in Roman letter		First Name in Roman letter		
国籍 Nationality			学年/職業 school grade/ Occupation		
出生地 Place of birth			生年月日 Date of birth	年 Year 月 Month 日 Day / /	
性別 Sex	<input type="checkbox"/> 男 Male	<input type="checkbox"/> 女 Female	婚姻 Marital status	<input type="checkbox"/> 未 Single	<input type="checkbox"/> 既 Married
現住所 Present address	E-mail : _____			家庭電話 TEL	
				携帯電話 MOB	
旅券番号 Passport No.	番号 No.		発行年月日 Date of issue		失効年月日 Date of expiration
	発行機関 Issuing Authority		査証申請予定地 Place to Apply for Visa		
学習コース Course	入学時期 Entrance Month <input type="checkbox"/> 4月 April <input type="checkbox"/> 10月 October		修学期間 Length of study <input type="checkbox"/> 2年 (2 years)/1年 (1 year) <input type="checkbox"/> 1年6ヶ月 (1 year and 6 months)		
終了後の進路 Plan after graduation	<input type="checkbox"/> 帰国 Return to home country		<input type="checkbox"/> 日本での進学 Enter a school of higher level in Japan		<input type="checkbox"/> その他 () Others
修学年数 Period of education	()年 years	最終学歴 Last school or institution		<input type="checkbox"/> 大学院 (博士) <input type="checkbox"/> 大学院 (修士) <input type="checkbox"/> 大学 Doctor's course Master's Course University <input type="checkbox"/> 専門学校 <input type="checkbox"/> 高等学校 <input type="checkbox"/> その他 () Technical college High school Others	
日本出入国歴 Past entry into/ stay in Japan	<input type="checkbox"/> 有 () 回 / <input type="checkbox"/> 無 Yes (times) / No		日本語学習歴 Career of learning Japanese		()年 Years
経費支弁者 Sponsor	氏名 Name		職業 Occupation		
	申請人との関係 Relationship with the applicant <input type="checkbox"/> 本人 Self <input type="checkbox"/> 父 Father <input type="checkbox"/> 母 Mother <input type="checkbox"/> 兄弟、姉妹 Brothers, Sisters <input type="checkbox"/> その他 Others ()				
	住所 〒 Address				
	電話 TEL		FAX		
	勤務先名 Name of Company		役職 Post		
			年収 Annual income		
	勤務先住所 〒 Address				
電話 TEL		FAX			

上記の通り相違ありません。

I hereby declare the above statement is true and correct.

申請日 Date of application 年 year 月 month 日 day



申請人署名 Signature of Applicant

履歴書&就学理由書、家族一覧
RESUME & REASON FOR ATTENDING SCHOOL, FAMILY LIST

別紙 (Attachment) 2

1. 氏名/Name : _____ 国籍/Nationality : _____
 2. 生年月日/Date of Birth : _____ 性別 男・女/Sex : Male, Female
 3. 現住所/Address : _____
 4. 婚姻/ : Marital status 未婚 Single, 既婚 (配偶者名) Married (Name of Spouse) : _____
 5. 学歴 : Education History

小学校から順に最終学歴まで / From elementary school to final educational background

学歴 Education record	学校名 (Name of school) 所在地 Address	在学期間 Period of Attendance		年数 Years
小学校 Primary	()	自 From 至 To	年 Year 月 Month 年 Year 月 Month	
中学校 Junior	()	自 From 至 To	年 Year 月 Month 年 Year 月 Month	
高等学校 High	()	自 From 至 To	年 Year 月 Month 年 Year 月 Month	
短大/大学 College/University	()	自 From 至 To	年 Year 月 Month 年 Year 月 Month	
その他 Other	()	自 From 至 To	年 Year 月 Month 年 Year 月 Month	

注：最終学歴の学校卒業後5年経過している場合は、「日本語教育機関卒業後の進路説明書（別紙3）」を添付

Note: If five years have passed since you last graduated from school, attach the "Explanation about the future path after graduating Japanese language institution (Attachment 3)".

6. 日本語学習歴/Previous Japanese Study Experience

学校名 Name of school	所在地 Address	学習期間 Study period		実学習時間 Actual learning time
		自 From 至 To	年 Year 月 Month 年 Year 月 Month	Hrs.
		自 From 至 To	年 Year 月 Month 年 Year 月 Month	Hrs.

注：日本語教育機関等の発行する「日本語学習履修証明書」を添付

Note: Attached "Certificate of Japanese language study" issued by Japanese language education institutions.

7. 職歴 (就職年月日順に記載すること) /Occupation Career (Chronological order, most recent job last)

勤務先 Name of Company	職種 Occupation 所在地 Address	在職期間 Period of Employment		年数 Years
	()	自 From 至 To	年 Year 月 Month 年 Year 月 Month	
	()	自 From 至 To	年 Year 月 Month 年 Year 月 Month	

注：会社等の発行する退職証明書 (在職証明書) 添付

上記の事は総て真実であり、私 _____ が直筆したものです。

I hereby declare the above statement is true and hand written by _____

記入日 Date of Fill in _____ 年 year _____ 月 month _____ 日 day



8. 出入国歴/Previous stay in Japan

滞在期間/Period of Stay

入国年月 Date of Entry	出国年月日 Departure	在留資格 Status (VISA)	在留目的 Purpose of stay
(1) _____	~ _____	_____	_____
(2) _____	~ _____	_____	_____
(3) _____	~ _____	_____	_____
(4) _____	~ _____	_____	_____

9. 就学理由/Reason for Studying in Japan/ 日本語訳を添付のこと Please attach a Japanese translation

(1) 日本語を学ぶ理由は何ですか。 What is the reason for studying Japanese?

(2) 卒業後の具体的な進路について。 What is your specific path after your graduation?

10. 修了後の予定/Plan for the future (after Graduation of the Japanese school)

(1) 進学 Go on to the next stage of education

学校名/The name of the school _____

希望学科/Major _____

(2) 就職希望者 Applicant for a job

就業予定先 Name of company _____

住所/The company's address _____

(3) 帰国/Return home

住所 Address _____

(4) その他 Others _____

上記(8~10)の通り相違ありません。

I hereby declare the(8~10) above statement is true and correct.

____年 year ____月 month ____日 day

申請人署名 Signature of Applicant _____



1 1. 申請人の家族一覧 (Applicant's family list)

(1) 国籍 Nationality :

(家族で別国籍者がいる場合は、下欄の枠外にその国籍と氏名を再度記入して下さい。)

If your family member has another nationality, please enter the nationality and name again outside the boxes below.

(2) 家族一覧 Family list

(続柄) Relationship 氏名 Name	男女 M/F	生年月日 Date of birth	職業 Occupation	居住地 Residence
(父 father)				
(母 Mother)				
()				
()				
()				
()				
()				

上記 (11) の通り相違ありません。

I hereby declare the (1 1) above statement is true and correct.

____年 year ____月 month ____日 day

申請人署名 Signature of Applicant _____



日本語教育機関卒業後の進路説明書 別紙 (Attachment) 3
EXPLANATION ABOUT THE FUTURE PATH AFTER GRADUATING JAPANESE LANGUAGE INSTITUTION

最終学歴の学校卒業後 5 年経過している場合

(5 years after graduating from the school with the final educational background)

注：日本語訳を添付のこと Please attach a Japanese translation.

- 1 最終学校卒業後から現在までの概要／Overview after graduating from the final school to the present.

- 2 日本語を学びたいと思った動機は何ですか。 What is your motivation to learn Japanese?

- 3 日本語教育機関卒業後の計画はありますか。 What are your plans after graduating Japanese language institution?

上記の通り相違ありません。

I hereby declare the above statement is true and correct.

____年 year ____月 month ____日 day

申請人署名 Signature of Applicant _____



誓約書と在学保証書
WRITTEN PLEDGE & LETTER OF GUARANTEE

別紙 (Attachment) 4

新富国際語学院 校長 殿
To Principal of Shintomi International Language Academy

受験番号 Examinee' s number _____
注 Note : 未記入 Blank

1 誓約書 Written pledge

- (1) 申請者 Name of applicant : _____ 性別 Gender : 男/女 Male / Female
国 籍 Nationality : _____ 生年月日 Date of birth : _____ 年 Year _____ 月 Month _____ 日 Day
- (2) 現住所 Current address : _____

私は、貴学に入학을許可されました時は、次の事項を遵守することを誓約致します。万が一それに違反した場合は、いかようなご処分を受けましても不服申しません。

When I am admitted to SHINTOMI INTERNATIONAL LANGUAGE ACADEMY "SILA", I promise to abide by the next item. I will submit to any reprimand if I break these regulations and never complain about it.

- ① 貴校が定める規則を遵守します。
I swear that I will comply with all rules and regulations set by SILA.
- ② 学業に専念することを誓います。
I swear that I will attend class regularly.
- ③ 私は在学期間の学費に関して、規定どおりきちんと支払うことを約束します。
I promise that I will pay my tuition fees during the enrollment period properly.
- ④ 日本国が定める法律に従い、日本滞在中は在留資格以外の活動を行わないことを誓約致します。
I swear that I am in a position to abide by all Japanese laws, rules and regulations made by Japanese government and not in a position engage in any other activities than those authorized by the immigration Regulations while I am in Japan.
- ⑤ 入学手続きに関する書類に虚偽の記載、または誓約した事項に違反した場合は学校の処置に従います。
I follow the disposition based on school rules as a result of any breach of the rules including the making any false statements in my application documents.

(3) 作成年月日 Date of completing : _____ 年 Year _____ 月 Month _____ 日 Day

(4) 申請者署名 Applicant & Signature : _____

2 在学保証書 LETTER OF GUARANTEE (経費支弁者記入 Fill in the sponsor)

私はこの申請人が新富国際語学院学生として在籍中、責任をもって上記事項を保証致します。

I assume all responsibilities for the above articles while this applicant stays in a student enrolled at SILA.

保証人氏名:Guarantor' s Full Name	
生年月日 (年齢) :Date of birth (Age)	
現住所 : Current address	
電話番号 : Telephone Number	
本人との関係 : Relationship with the student	

記入年月日 Date of filling out : _____ 年 Year _____ 月 Month _____ 日 Day

保証人署名 Guarantor & Signature : _____



経費支弁書

LETTER OF FINANCIAL SUPPORT

日本国法務大臣 殿
To the Minister of Justice, Japan

国籍 Nationality
氏名 (申請者) Name(Applicant)
生年月日 (Date of birth) : 年 (Year) 月 (Month) 日 (Day) (男/女) MALE / FEMALE

私は、この度、上記の者の日本国に入国した場合の経費支弁者になりましたので、次のとおり経費支弁の引受経緯を説明するとともに、経費支弁について誓約します。

I hereby pledge that I will act as the financial supporter of the above applicant, and will give an explanation regarding the procedure of all expenses during the period of his/her stay in Japan.

記

1 経費支弁の引受経緯 (申請者の経費支弁を引受けた経緯及び申請者との関係について具体的に記載して下さい。) Reason for support (Explain the circumstance and the relationship between yourself and the applicant in detail. Also, Please state specifically how you accepted the applicant's financial support.)

Empty box for providing details of financial support.

注 Note : 日本語訳を添付のこと (Please attach a Japanese translation.)

2 経費支弁内容

私は、上記の者の日本国滞在について、下記の通り経費支弁することを誓約いたします。また上記の者が在留期間更新許可申請を行う際には、送金証明書又は本人名義の預金通帳 (送金 事実、経費支弁事実が記載されたもの) の写し等で、生活費等の支弁事実を明らかにする書類を提出いたします。

I hereby pledge that I will support the above applicant during his/her stay in Japan.

If the applicant apply for renewal of residency, I will submit the following documents: a copy of a certificate of remittance or a bank account in his/her name, in which the fact of remittance or support are stated, and which can prove the fact that his/her living expenses are being supported.

- (1) 学費 (Tuition Fee) : 毎月 (Every month)、半年毎 (6 Months)、年間 (annual)
(2) 生活費 (living expenses) : 毎月 (Every month)、半年毎 (6 Months)、年間 (annual)

3 滞在費の支弁方法等 Method of Financial Support.

- (1) 外国からの送金 Foreign remittance (yen/month)
(2) 外国からの携行 Carrying from foreign countries (yen/month)
(3) その他 (Others): (yen/month)

以上のとおり相違ありません。

I hereby certify that the above information is correct.

Creation date: 年 (Year) 月 (Month) 日 (Day)

経費支弁者 the financial supporter

- (1) 現住所 Current Address
(2) TEL
(3) 氏名 (署名) Name (Signature)

印



経費支弁者家族一覧表
LIST OF THE FINANCIAL SUPPORTER FAMILIES

1 国籍 Nationality :

(家族で別国籍者がいる場合は、下欄の枠外に国籍と氏名を再度記入して下さい。)

(If your family member has another nationality, please enter that nationality and name outside the box below.)

2 家族一覧 Family list

男 Male: M, 女 Female: F, 同居 LT: Living together, 別居 LA: living apart

続柄 (Relationship) Name	M/ F	生年月日 Date of birth	年齢 Age	職業 Occupation	居住地 Residence	LT / LA
(Father)						
(Mother)						
()						
()						
()						
()						
()						

注：経費支弁者と申請人の関係を立証する文書（原則として原本）を添付して下さい。

Note: Please attach the document (original) that proves the relationship between the financial supporter and the applicant.

上記の通り相違ありません。

I hereby declare the above statement is true and correct.

年 year 月 month 日 day

経費支弁者署名 Signature of the financial supporter

